



輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind



みんなで駆け抜けたマラソン大会！無事完走！！

－Change（変革）,Challenge（挑戦）,Continue（継続）－

先週の1月29日（土）、令和3年度マラソン大会を実施し、穏やかな天候の中、子供達は元気いっぱい走りきることができました。PTA本部役員様には、走路に立っていただき児童の安全確保の為に尽力いただきました。誠にありがとうございました。

マラソン大会の開会式では、次のような話をしました。このマラソン大会に向け、毎日、おはようマラソンを走った皆さんの姿は本当に素晴らしいと思います。よく頑張りました。今日のマラソン大会で、校長先生が皆さんに求めるのは、今日のマラソン大会を、皆さんにとって、「**最高のマラソン大会**」にして欲しいということです。「最高」ということ、それは、一人一人が、今まで経験したマラソン大会の中で「1番いい」マラソン大会にするということです。では、「1番いい」というのは、どういうことでしょうか。すぐ思いつくのが、①タイムが速くなること、②ゴールした順番が上がること、だと思うのですが、校長先生は、それだけではないと思っています。では、その他には、どんなことがあるのでしょうか。それは、もうだめだと諦めたくなくなる気持ち、しんどいなあと思う気持ち、苦しさに負けてしまいそうな弱い、弱い自分の気持ちが顔を出した、**その時、「負けるか！」「大丈夫！」「まだまだいける！」**そんな風に、自分を奮い立たせる**熱い気持ち、強い勇気を出せるか、どうか**ということです。今年のマラソン大会は、「**無観客**」沿道に、応援の姿はありません。正に、自分との闘いです。辛い時、苦しい時、皆さんを励ましてくれる応援は無いのです。しかし、応援が無くて、たった一人でも、全員、最後まで走り切る。そして、走り終えた後、『**精一杯、力一杯、走りきった**』と自信をもって

言えること。それが「1番いい」、「最高」ということです。ゴールした後みなさんには、どんな景色が、どんな風景が見えているのでしょうか。きっと、今までとは違った世界が、広がっているはずです。**最後まで、走り切った、ゴールした、その時、その人にしか手にすることができない宝物があると思います。**今日は、中番小学校全員に、自分にしかない、自分だけの宝物を、一人一人、その手に、掴んで欲しいと願っています。さあ、今日は、自分の今までのマラソン大会で、「1番いいマラソン大会」にしましょう。そして、「最高のマラソン大会だったと自信をもって言える」そんな大会にして欲しいと願っています。

子供達の走る様子を見ていて、マラソン大会はいいなあと思うようになりました。当然、足が速い子もいれば遅い子もいます。得意な子もいれば苦手な子もいます。マラソン大会は、**単純に「ただひたすらに走る」**ことなんです。どんな子供達も、誰でも、自らの力で、一步一步足を運ばないとゴールには辿りつけないのです。速さは関係ありません。ただひたすらにゴールを目指し、走る、そうする者にゴールは確実に近づいてきます。ゴールする子供達の顔はそれぞれです。苦しい顔、辛そうな顔、終わったという安堵の顔、歓喜の顔、等々、様々です。走り終えた者にしか分からないものがそこにあるのだと思います。今回走れなかった子供達もいます。残念な思い、悔しい思い、複雑な思いがあると思います。でも、中番小学校の子供達のマラソン大会への思いは一つです。**自己への挑戦、飽くなき向上心、ただひたすらにゴールを目指し走るです。**おはようマラソンから続くこの長い道のり、みんな本当によく頑張りました。今年も6年生には運営の方をお手伝いしてもらいました。ゴールした児童を案内する仕事、着順票を渡す仕事、ゴールテープの仕事、写真、終わった後の片付け等、多くの役割を担ってくれました。見えないところで、人知れず、大きな力を発揮してくれています。6年生のその優しさを、頼もしさを、逞しさを、大変、嬉しく思います。深く感謝しています。本当にありがとう。